

UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKERS'

# ついでに 宇都宮

【題字】 宇都宮市長 佐藤栄一 様

CONSTRUCTION

vol. **309**

**2017**



『土木遺産～錦帯橋』

アズマ原総業(株) 原 賢一郎 様 写真提供



一般社団法人 宇都宮建設業協会



## 新年度に向けて

一般社団法人 宇都宮建設業協会  
会長 増 淵 薫

建設業界は、建設投資の長期減少傾向に一定の歯止めがかかる一方で、東京五輪開催など建設需要に旺盛な首都圏と地方との地域間格差や企業間格差が顕在化してきております。そして、過当競争を背景とした低価格受注が常態化し、受注量の減少とともに利益率の低下など厳しい経営環境にあります。

一方、毎年のように発生する自然災害は、比較的災害が少ない地域とされてきた本県も例外でなく、一昨年の「関東・東北豪雨」に続き、今年3月末には県内の高校山岳部の学生たちが、春山登山の訓練中に雪崩に遭い、まだ若い8名の尊い人命が失われる災害が発生いたしました。謹んでご冥福をお祈りいたしますとともに、あらゆる自然災害に対し想定外では済まされないと、身を引き締めていかなければならないと思うところであります。

現在、国では働き方改革や先進技術の導入を急速に進めております。

中でも、先進技術では、平成29年度を“生産性革命前進の年”と位置付け、i-Constructionをはじめとする建設現場の生産性向上を目指す取り組みを一層本格化する姿勢であります。

栃木県でも、昨年度にICT建機（情報通信技術）を全面活用した工事を発注しており、今後、人手不

足の解消、そして現場の高度化や効率化を求めて、IoTやAI技術といった革新的技術の進歩とともに、この流れは一層、加速していくと思われまので、地元自治体の発注工事を主戦場とする我々、地方建設業も時代の変化に順応できるようi-Constructionへの取り組み体制の準備を怠ってはならないと強く感じております。

ご承知のとおり、社会資本整備は経済活動や国民生活の向上をもたらす効果がございます。我々、建設業は、その担い手であるとともに、災害時の緊急対応や除雪作業など地域社会の安全・安心を守るといふ重い社会的使命を担っておりますが、こうした社会貢献活動を将来にわたって継続していくためには、何といたっても経営基盤の安定化が必要であります。そのため、公共事業費をはじめ必要な事業量の確保に向けて、あらゆる機会を捉えて発注当局等関係機関へ発信して行く必要があると考えております。

今年度も混沌とした社会経済情勢ではありますが、社会資本整備はもとより異常気象時の対応や地域貢献活動など、地域に根差した各種事業に取り組んでまいり所存でありますので、会員各位の一層のご理解・ご協力をお願い申し上げ挨拶といたします。

# 平成29年度 通常総会

2017.5.18<sup>木</sup>

平成29年5月18日(木)、県建設産業会館において、会員約70名の出席のもと宇都宮建設業協会・宇都宮建設事業協同組合・宇都宮建設業協会政治連盟の平成29年度通常総会が開催された。

総会冒頭、増淵会長は「我々は社会資本整備と自然災害への緊急対応により、地域社会の安全を守るという重い使命を担っている。この役割を果たし続けるには経営環境の安定が必要。建設業を取り巻く環境が厳しい中でも、会員が連携をとりながら各種事業に取り組んでいく」と挨拶。その後、永年勤続委員



力強く挨拶する増淵会長

表彰が行われ、増淵会長から受賞者代表の神戸伸房氏（㈱神戸組）に表彰状が手渡された。

議事では会員企業の経営環境向上と災害対応等の地域貢献を推進していくことを盛り込んだ事業計画・収支予算書案など各議案が原案どおり全会一致で可決された。

また、今年度19年ぶりに2社の入会があり、㈱清水造園（4月6日入会）の清水孝眞社長と㈱落合東光園（4月23日入会）の落合功社長が紹介された。（手塚）



新入会の紹介



## 感謝状



感謝状授与

## 永年勤続表彰

### 受賞者

永年勤続委員15年 庭野 宏隆氏《㈱庭野建設》  
 入江 誠氏《大幹建設㈱》  
 神戸 伸房氏《㈱神戸組》  
 吉沼 弘之氏《㈱神吉工業》  
 入江 克拓氏《㈱入江組》

永年勤続委員10年 津野田 哲氏《㈱津野田土木》  
 櫻井 英治氏《㈱新生工業》

おめでとうございます

## 新任挨拶



### 建設業における労働災害防止対策の推進について

宇都宮労働基準監督署長 堀澤 俊孝

本年4月1日付けで、宇都宮労働基準監督署長に着任いたしました。前任者同様宜しくお願い致します。

さて、昨年の管内の休業4日以上労働災害発生件数は、496件と対前年比で24件の増加となりました。また、死亡災害については残念ながら4名増の7名と大幅に増加しました。この内建設業については、8件増の64件となり、死亡災害についても1名増の2名でした。幸い本年に入ってから、労働災害は若干の減少傾向で推移していましたが、残念ながら去る3月16日に、宇都宮市内のビル改装工事現場で一度に2名の作業員が墜落死すると言う痛ましい事故が発生しました。

平成25年度にスタートしました第12次労働災害防止計画もいよいよ今年度が最終年度となりましたが、この間、誠に残念ながら局内管内ともに災害件数が増加傾向を示すなど、計画目標の達成は大変厳しい状況にあります。

このため当署では、本年度が4年目となる『宇都宮署管内「安全文化」推進運動』の一層の推進に努め、今後、熱中症予防や墜落転落災害防止、転倒災害防止等、各種労働災害の防止に向けた安全衛生塾（講座）を順次開催することと致しましたので、貴協会会員の積極的な参加を期待しております。

結びに、宇都宮建設業協会の益々のご発展と会員事業場のご隆盛、無災害を祈念申し上げ、着任の御挨拶とさせていただきます。



### 官民の協力で県央地域の元気度No. 1を目指す

宇都宮土木事務所長 横田 英雄

この度の定期異動によりまして、宇都宮土木事務所長を拝命しました横田でございます。

13年ぶり、2度目の宇都宮土木事務所勤務となります。どうぞよろしくお願いいたします。

栃木県県土整備部では「県土づくりプラン2016」に基づく施策を推進しており、宇都宮土木事務所といたしましても、『県央地域の「安心」「成長」「環境」を担う、元気度No. 1の宇都宮土木』をスローガンに、効率的・効果的な事業の執行、透明性の確保と説明責任に努めてまいります。

事務所の執行方針としましては、通学路等の歩道整備や道路改良による交通安全対策、河川・砂防施設の整備による防災減災対策、既設インフラの耐震補強や安全対策による長寿命化対策を実施いたします。また、幹線道路の整備による道路ネットワークの充実化や、都市計画道路の整備による中心市街地の活性化対策等を積極的に実施してまいります。

さて、建設事業者の皆様におかれましては、昨年8月21日の台風9号や9月7日の集中豪雨において、災害対応等にご尽力いただき、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

建設事業者の皆様には、社会資本の整備保全や災害時の緊急対応につきまして、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新任の挨拶とさせていただきます。



### 競争力の高い農業の実現に向けた基盤づくりを目指して

栃木県河内農業振興事務所長 荒井 忠雄

この度、栃木県河内農業振興事務所長に就任いたしました荒井でございます。

（一社）宇都宮建設業協会の皆様には、常日頃から県農政の推進、とりわけ農業農村整備の推進につきまして、特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

農業・農村を取り巻く情勢は、人口減少や国際化の進展など対応すべき課題は数多くありますが、新規就農者が少しずつ増加するなど、明るい兆しも出てきています。

県では、地域の強みを生かし、子供達に夢を与え、人を惹きつける魅力ある農業・農村の実現を目指した「とちぎ農業“進化”躍動プラン」及び「とちぎ水土里づくりプランIII」に基づき、関係機関や団体等と連携しながら各種施策を積極的に展開しているところであります。

今後、こうした施策を支えるため、農地整備事業では、これまで取り組んできた担い手への農地集積・集約化に加え、産地収益力の向上につながる生産基盤の整備をなお一層推進して参ります。また、老朽化が進む農業水利施設の補修・更新整備事業では、計画的な保全・管理や防災・減災対策に取り組み、元気あふれる地域づくりを目指して参ります。

貴協会におかれましては、引き続き当地域の農業農村整備の円滑な推進に向け、尚一層の御支援をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を御祈念申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。

## 新任挨拶



### 「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現を目指して

宇都宮市副市長 手塚 英和

この度、宇都宮市副市長に就任いたしました手塚でございます。

本市のまちづくりに誠心誠意取り組む所存でありますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃より、本市の発展と市政運営に格別の御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、4月の「熊本地震」や、8月の岩手県・北海道を中心とした台風による「豪雨被害」などが発生し、自然災害の恐ろしさを改めて痛感したところでありますが、一方、リオデジャネイロオリンピックでの本市にゆかりのある選手の活躍や夏の全国高等学校野球選手権における作新学院の優勝など、明るい話題が多い年でもありました。

こうした中、本市におきましては、本年3月に災害時において市民の生活を守るとともに、災害に強いまちづくりを推進するため、「宇都宮市国土強靱化地域計画」を策定したところであります。市民の誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを最優先課題として掲げ、「幹線道路の整備」や「河川の改修」などの防災・減災対策に積極的に取り組んでまいります。

また、現在「第6次宇都宮市総合計画」の策定を進めておりますが、その中においても、「ネットワーク型コンパクトシティの形成」に資する「公共交通ネットワークの構築」や、「道路や公共建築物の適正管理の推進」等の視点も踏まえ、今後の人口構造や社会環境の変化に的確に対応するまちづくりをより一層推進してまいります。

貴協会の皆様におかれましては、本市のまちづくりの実現や災害時の緊急対応等に御尽力いただいておりますが、今後とも、なお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



### 「骨格の強い、頼りがいのある『未来都市うつのみや』」となるために

宇都宮市理財部長 青木 雄一

この度、宇都宮市理財部長に就任いたしました青木でございます。

宇都宮建設業協会会員の皆様には、日頃より本市の市政運営に格別のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国におきましては、少子・超高齢化、人口減少社会に立ち向かっていくため、「一億総活躍社会」の実現を目指し、子育て・介護支援の拡充、地方創生、女性の活躍推進など、あらゆる政策を展開しているところでありますが、本市におきましても、市民が安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるため、待機児童ゼロや高齢者の地域での生活支援などに向けた施策に取り組んでいるところであります。

さらに、市民が幸せに暮らし、将来にわたり持続的に発展していく「日本をリードする未来都市」を築いていくため、本市の目指す都市の姿であります「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成をはじめ、本市が、市内外から選ばれる高い都市力を備えていくべく、各種施策の実現に取り組んでいるところであります。

これらの取組を計画的に進めていくために、今後とも、自主的・自立的な行財政運営の基盤である市税等の適正・公平な賦課徴収を推進するとともに、入札契約制度につきましては、引き続き、透明性・競争性・公正性を確保し、発注者の責務として、価格面や品質面、地元企業の振興の観点などにおいて、総合的に優れた公共工事による社会資本整備が図られるよう、社会経済情勢を的確に捉えた制度の適正化を推進してまいりたいと考えております。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様の更なるご活躍をご祈念申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。



### 安全・安心な暮らしを支える「都市基盤の整備」を目指して

宇都宮市建設部長 飯塚 由貴雄

この度、宇都宮市建設部長に就任しました飯塚でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃より、本市の建設行政に特段のご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

現在、建設部におきましては、本市が目指す「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向け、「公共交通ネットワークの充実に向けたLRTの整備」や「防災機能向上のための道路ネットワークの計画的な整備」、「『自転車のみや』を推進するための自転車走行空間の整備」、「公共建築物や橋梁などの耐震化や長寿命化の推進」などに取り組むことにより、市民の皆様が安全・安心な暮らしができますよう、様々な都市基盤の整備を推進しているところであります。

今年度は、LRT事業におきまして早期に着工することができるよう、法的な手続きを着実に進めていくとともに、市民の皆様が事業への理解を深めていただくための「説明会やオープンハウス等」の強化や各種媒体を活用した情報発信、さらに、車両や停留場をはじめとしたトータルデザインの取組を行ってまいります。

また、(仮称)大谷スマートICやアクセス道路の整備に向けた調査設計の実施、幹線道路や通学の安全性も考慮した生活道路の整備、河川においては溢水対策の推進など都市基盤の整備に努めているところでありますので、今後とも、貴協会のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、貴協会の益々の発展と会員の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、就任の挨拶とさせていただきます。

REPORT

青年の会 活動報告

通常総会

2017.6.2(金)

平成29年6月2日(金)、ホテルニューイタヤにおいて宇都宮建設業青年の会の平成29年度通常総会が開かれた。

総会前には佐藤栄一宇都宮市長が駆け付け、「未だに公共事業は悪いという風潮が尾を引いているが、公共事業で景気対策を行うことは当然であり、今後の長寿命超高齢社会ではインフラを少ない人数で使いやすいものとしていく必要がある。皆さんが中心となって次代に還元できる建設業界をつくりあげてもらいたい」と、会員の活躍に期待の言葉を寄せた。

その後、鹿野雄久会長【鹿野建設(株)】より「会員皆様方の協力の下、すべての事業を無事に終える事ができた。今後も会の発展に尽力したい」と挨拶があり議事に入った。

平成28年度事業経過報告ならびに収支決算報告、および平成29年度事業計画ならびに収支予算が原案どおり可決され、続く役員改選では渡邊幸雄新会長【中村土建(株)】をはじめとする新体制が満場一致で承認された。渡邊新会長は挨拶の中で「オリンピック・パラリンピックを3年後に控え、世界各国に日本のモノづくり、建設業の素晴らしさをアピールする絶好の機会の今こそ、日本国民全体にもその素晴らしさを認知してもらおうチャンス。新たな取り組みとして宇都宮土木事務所との意見交換なども行っていくので、会員の協力をお願いする」と抱負を述べた。(津野田)



鹿野前会長



渡邊新会長

平成29年度 宇都宮建設業青年の会 執行部名簿

会長	渡邊 幸雄	[中村土建(株)]
副会長	野中 伸之助	[野中建設(株)]
同	原 賢一郎	[アズマ原総業(株)]
同	入江 誠	[大幹建設(株)]
幹事長	庭野 宏隆	[(株)庭野建設]
幹事	入江 克拓	[(株)入江組]
同	田仲 重啓	[(株)元重建設]
同	菊池 祥一	[山本建設(株)]
同	増渕 勝明	[(株)増渕組]
会計	津野田 哲	[(株)津野田土木]
同	古橋 和樹	[古橋土建(株)]
会計監査	佐々木 隆	[(株)カクタ技建]
同	鹿野 雄久	[鹿野建設(株)]



新役員



## -----震災の日 3.11に----- ゆりあげ 被災地（関上）を訪問～献花と祈り

あの日の惨劇を忘れない・・・ 当協会の役員懇話会では、東日本大震災から6年目の今年3月11日に宮城県名取市関上地区を訪問し、犠牲者の皆様を追悼するため、献花台に献花し黙祷を捧げました。

語り部の方に同乗していただき当時の状況などを詳しく聴くと、1,000人近い方々がお亡くなりになった悲惨な光景が目に見え涙が込み上げました。

「この地区には津波が来ない。」という誤った認識がありました。震災後に日和山の周囲を見てみると、古い石碑には、昔津波が来ていたことが記されていたこと。自宅にいた方は、庭から水が噴き出すなどの異変に気づき、早くから逃げて助かった方が多かった一方、仙台方面に出掛けていた人が皆帰ってきてしまい、渋滞にも巻き込まれて被災してしまった方がいたことなど様々なお話を伺いました。

私たちも、先人たちの教訓の大切さを学びました。

改めて、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災地の皆様が、早く心身ともに穏やかにお過ごしになれるようご祈念いたします。

当協会ではこの経験を胸に、緊急時に対応できるよう災害時の連絡体制の確認や準備を万全にしているところです。平成27年9月9日から数日間の「関東・東北豪雨」の猛威は記憶に新しいところであり、これからの時期は特に緊張感をもって備えなければなりません。

官公庁と災害支援協定を締結し、合同訓練なども実施

しながら日々研鑽を積んでいます。

自衛隊の方々と同様に、県民・市民の皆様の安全を守る心持で対応しています。

(荒井)



震災の慰霊碑「芽生えの塔」



役員全員で献花

## ----- 備えあれば憂いなし ----- 病原性ウイルス被害の拡散防止への協力

当協会では、災害対応のほかにも、河内地域において鳥インフルエンザならびに口蹄疫が発生した場合には、被害の拡散を防止し事態を収拾するため、栃木県と「家畜伝染病の発生時等における防疫対策への協力に関する

協定書」を締結し、官民連携して対応することになっています。毎年、そのための実地講習会にも参加し勉強しているところです。

(荒井)



# 平成29年第1回 愛リバーとちぎ 河川清掃活動

2017.3.24(金)



当協会は3月24日、「愛リバーとちぎ第1回河川清掃活動」を実施。

当日、晴天の朝、当協会会員総勢約15名が建設業協会に集合し、末長委員長の挨拶、佐々木委員からの作業注意事項の説明後、担当作業箇所へ移動し、4班に分か

れて午前9時より清掃作業を開始。

一級河川田川では遊歩道のゴミ拾い・草刈を行い、約2時間の清掃活動となり、市中心部を流れる田川に相応しい快適な河川環境の維持に参加者全員で取り組んだ活動となった。(古橋)



建災防栃木県支部宇都宮分会は4月25日に非公開による安全パトロールを実施しました。

通常は労働基準監督署の役職の方に同行をお願いしていますが、今回は安全委員会4名にて2箇所の建設現場をメインに各所を巡回しました。

今回のパトロールに協力いただいた企業及び作業所は次のとおりです。

- ・アズマ原総業(株)「道路改良工事総合スポーツゾーン西進入路その2」
- ・岩原産業(株)「道路改良工事総合スポーツゾーン西進入路その3」

両作業所とも公共施設が隣接し、一般の方々も多く集まるエリア内での工事なので、現場代理人や作業に従事する方々も緊張感をもって参加いただきました。

現場代理人からは、工事概要と当日の作業内容や工事進捗率について説明があり、その後、工事関係書類、現場安全施設、工事車両の管理状況を点検しました。

どちらの現場とも概ね、書類による安全管理がされて

おり、現場状況においても整理整頓がされ、作業エリアの明示や建設機械の管理等も良好に行われておりました。

軽微な指摘事項については安全委員会にて講評をし、是正をお願いしました。

安全委員会は、年に9回の非公開による独自の安全パトロールを実施しています。安全に100%はなく、日々作業所内の状況が変わる中でヒューマンエラーや不可抗力による事故の危険が常にあるという意識を工事に従事する全ての関係者にもっていただけるよう、過去の事故の事例等を見直ししながら、各社の安全管理者と連携しつつ安全パトロールや安全講習会等を開催して安全意識を醸成していく活動を行っていきます。(船見)



## 補助制度のご案内

～ 医療・福祉・子育て支援・教育・商業・金融施設などまちの生活を支える施設の整備をお考えの皆様へ ～

宇都宮市では、便利で暮らしやすく100年先も持続的に発展できるまち「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けた施策を展開しています。その一つとして、立地適正化計画で定めた都市機能誘導区域に、医療・福祉、商業等の誘導施設を維持・確保するための補助制度を設けています。是非ご活用下さい。

補助対象者：都市機能誘導区域において対象施設(建物)を新築または増築、改築、大規模改修または取得し、自ら運営して事業を行う事業者

補助率：施設整備費(建物)の10%

限度額：1億円(都市機能誘導区域)、3億円(高次都市機能誘導区域)

詳細につきましては、市街地整備課(TEL632-2588)までお問い合わせ下さい。

## 編集後記

平成29年度が始まり、入社・入学・人事異動など新たな門出の時を迎えた。当協会においても去る平成29年5月18日に通常総会が開催され、事業内容や予算が満場一致で承認され、正式な形で今年度がスタートした。また2

社の新たな入会があり、さらにパワーアップして協会一体となって業界発展のため、増淵会長を中心とした協会運営が期待される所である。

(岩原)

